

林原美術館NEWS

平成14年4月1日 Vol.3

平成14年度 林原美術館展覧会等

平日頃、林原美術館の展覧会をご観覧いただくとともに、種々のご支援を賜り皆様には心よりお礼申し上げます。

林原美術館の「友の会」は、二十一世紀を迎え、昨年リニューアルしまして、特典の充実を図るとともに、友の会の皆様との連絡を密にするため、展覧会の概要や所蔵品の紹介、館外行事のご案内などの情報を美術館ユースを通して紹介して参りました。本紙は、美術館ユース第三号となりますが、今回は、平成十四年度の展覧会、館外行事を中心に紹介させていただきます。

今年度の展覧会は、特別展三回、企画展二回を計画しています。四月二十六日から、特別展「棟方志功展」を開催いたします。

来年、生誕百年を迎えるのを機に、「日本の棟方」から「世界のムナカタ」に飛躍した棟方芸術約九十点をご覧いただけます。また、江戸時代の浮世絵黄金期を築いた広重、歌麿、写楽、北斎など浮世絵名品を一挙公開する「東海道五十三次と浮世絵名品展」や風呂敷の便利さと美し

さを再発見していただく「世界大風呂敷展」など特別展の充実を図ることいたしました。館外行事としましては、六月に「美術館周遊の旅」、十一月に「伝統工芸探訪の旅」を各一回計画しています。

なお、皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、七月八日から約二ヶ月、十一月十一日から年末まで収蔵品整理作業のため休館させていただきますことをお許しく下さい。

今後とも、皆様に美術館の活動内容にご理解いただき、さらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(事務長 磯部義隆)



吉祥文堆朱桃形合子

特別展 「棟方志功展」
- 日本の棟方から世界のムナカタへ -
S QUæi j' T QUæi æ j@ RPæ

企画展 「平家物語絵巻」
U Qæi æ j' V Væi æ j@ RUæ

特別展 「東海道五十三次と浮世絵名品展」
歌麿・写楽から幕末パラエティ・まで」
X PTæi æ j' PP POæi æ j@ TVæ

企画展 「瑞祥の美」
% <15 NP Sæi y j' Q Xæi æ j@ RVæ

特別展 「世界大風呂敷展」
% <15 NR Qæi æ j' S Uæi æ j@ RUæ

第2回 美術館周遊の旅

平成14年6月15日(土)
「平山郁夫美術館」訪問

第35回 林原美術館美術講座

平成14年10月19日(土)
特別講演会
「浮世絵の謎と魅力を語る。」
広重の東海道五十三次の「ミラズテリ」

講師 国際浮世絵学会 常任理事
中右 瑛氏

第4回 伝統工芸探訪の旅

平成14年11月9日(土)
備前焼作家 山本雄一氏の窯場探訪

特別展 棟方志功展

日本の棟方から世界のムナカタへ

4月26日(金)～5月26日(日)

近代日本の美術史において類い希な異色の芸術家として世界の人々に賞賛され、高い評価を受けた棟方志功。一九〇三年青森に生まれた志功は、ゴッホに憧れ上京し版画の道へと進みます。そして民藝指導者の柳宗悦・河井寛次郎らと出会い民藝や仏教など日本文化に接し自分の作品に吸収していきます。本展は、生誕百年を来年にひかえ、「日本の棟方」から「世界のムナカタ」へ飛躍した国際美術展受賞作品から「日本の棟方」として志功が愛した故郷青森の津軽やネプタを描いた作品など、文化勲章を受章するに至るまでの棟方芸術を展覧いたします。板画・倭画・書などによる棟方志功の生涯に渡る芸術約九十点をどうぞお楽しみください。



倭画「双妃図」昭和33年 新潟県六日町蔵

特別展 東海道五十三次と浮世絵名品展

歌麿・写楽から幕末バリエーティまで

9月15日(日)～11月10日(日)



歌川広重「東海道五拾三次 日本橋」保栄堂版

江戸時代に庶民の間で爆発的に流行した浮世絵には、卓越した構図の妙からくる強烈なインパクトのある作品が多く、見るものの心に焼き付いて離れることを知りません。そのため、現代に生活する我々でも、テレビの「コマーシャルやポスター」等の各種広告メディアで目にするものがよくあります。本展覧会では、風景画の名手として名高い広重の「東海道五十三次」を中心に、江戸時代の浮世絵黄金期を築いた歌麿の美人画、大首絵で一大センセーションを巻き起こした写楽の役者絵、作画生活約七十年にも及んだ北斎の風景画、幕末時代に流行したおどろおどろしい妖怪絵など、浮世絵の名品約二百点を一挙に展示いたします。江戸の人々を魅了し、現代においても変わることのない輝きを放つ浮世絵の名品の数々をご鑑賞ください。

特別展 世界大風呂敷展

平成15年3月2日(日)～4月6日(日)

風呂敷は、日本独自の伝統文化のようにはいわれていますが、けっしてそうではありません。布を使って「ものをつつむ」文化は日本のみならず、広く世界中にあります。トルコでは風呂屋の棚に布で衣類を包んで並べる習慣があり、まさに日本の風呂敷の語源となる風呂敷で用いる使い方です。また今でも贈り物をするとき、風呂敷に包むとあらたまった気持ちを表わします。風呂敷で、大事な嫁入り道具を包んだり、聖なる人間の遺体を包んだり、風呂敷には特別な使い方があります。本展覧会では、日本をはじめ、世界の諸民族の日常的な風呂敷の使い方と、特別な使い方を紹介します。この展示を通じて、紙袋の大量消費など、使い捨ての現代文化への反省と風呂敷の便利さ、美しさを再発見する機会にしたいと思います。



「木綿地褻れ熨斗模様筒描風呂敷」明治時代 宮井伝之助コレクション

企画展「平家物語絵巻」

6月2日(日)～7月7日(日)

林原美術館には全三十六巻の「平家物語絵巻」が所蔵されています。これは越前松平家に伝来したものです。今回の企画展では、この絵巻の中から名場面を選び、また合戦に関連した屏風、刀装具なども併せて展示いたします。絵巻を中心に、平家物語の世界をご紹介します。



平家物語 巻第九 上 宇治川の先陣争い

企画展「瑞祥の美」

平成15年1月4日(土)～2月9日(日)

瑞祥(おめでたいしるし)といわれると何を思い出すでしょうか。宝尽文様や吉祥文、鶴や亀、また一富士・二鷹・三茄子など、昔からおめでたい図柄としてよく使われています。また、婚礼調度品のようにそのもの自体がおめでたいものや龍や鳳凰など権威の象徴として使われてきたものなど様々です。今回の展示では、当館所蔵品の中から多ジャンルに渡っておめでたい図柄を集めた展示を行います。新春の一日、日本人が昔から持っていた瑞祥への想いを一緒に見つめてみませんか。



七宝散文銀製印籠

イベントのご案内

毎年恒例となりました当館主催の各種イベントを本年も左記の通り開催いたします。皆様方お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。なお詳細につきましては、別途ご案内申し上げます。

第二回 美術館周遊の旅

6月15日(土)「平山郁夫美術館」訪問

かつて瀬戸内海で最強だった「村上水軍」が豪壮な海のロマンを繰り広げた芸予地域の島々を結ぶしまなみ街道、文化勲章受章者の平山郁夫氏の院展出品作の本画・大下図を中心に展示する平山郁夫美術館、全国の国宝・重要文化財の指定を受けた武具類の約八割を保存展示し、本殿も重要文化財に指定されている大山祇神社を散策します。初夏の一日をお楽しみください。



平山郁夫美術館外観

第四回 伝統工芸探訪の旅

11月9日(土)

備前焼作家 山本雄一氏の

窯場探訪

昨年の夏季美術講座「人間国宝の父を語る」で熱弁を奮っていた記憶も新しい、岡山県重要無形文化財保持者の山本雄一氏の窯場を訪れます。当日は岡山県備前陶芸美術館を見学後、山本氏の窯場を訪れ、普段は聞くことが出来ない作家ならではの苦勞話や裏話を語っていただいた後、備前窯にて実際に備前焼製作に挑戦します。

山本雄一氏略歴

人間国宝山本陶秀の長男。昭和十年生まれ。

幼少より父の薫陶を受け、二十四歳の時に本格的に陶芸の道に入る。平成八年岡山県重要無形文化財保持者に認定。



備州窯外観

第三十五回 林原美術館美術講座

10月19日(土) 特別講演会

演題「浮世絵の謎と魅力を語る。」

広重の東海道五十三次の「ミステリー」

講師 国際浮世絵学会 常任理事 中右 瑛氏

会場 岡山県立美術館(小ホール)

講師プロフィール 一九三四年生まれ。神戸市在住。

浮世絵コレクター。洋画家、行動美術協会会員。

著書『写楽は18歳だった』、『浮世絵忠臣蔵』

『浮世絵ミステリー巷談』ほか著書多数。

